

全国ネット通信

低炭素社会づくりに向けて「希望」を伝えあおう

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット 理事長 長谷川 公一

2011年、私たち、一般社団法人・地球温暖化防止全国ネットが発足して2年目の年です。省みると、2010年は、準備から立ち上げへ、JCCCAの指定へとまことにめまぐるしい1年でした。おかげさまで、各地域センター、環境省、財団法人日本環境協会など、関係のみなさまのご理解とご協力を得て、事業仕分けの荒波の中、無事船出をすることができました。

「25%宣言」で期待された民主党政権も、事業仕分けや環境コンシェルジュ事業への低い評価にみられるように、温暖化対策への基本的な理解不足や消極姿勢が目立っております。国際的にも、メキシコのカンクンで開催された気候変動枠組条約COP16で示されたように、2013年以降の新しい枠組をめぐる、基本的な対立が続いたまま国際交渉が遅々として進展しないという残念な状況が続いています。

2010年秋は、たまたま教え子や知人から出産の知らせが相次ぎました。全国ネットの誕生とほぼときを同じくして産声をあげた新しい命に、特別な感慨が湧きます。メールで届いた赤ちゃんの写真をしながら、2101年、22世紀を91歳で迎える彼らに、私たちはどんな地球を託すことになるのだろうか、とても心配になります。2030年に成人し、2050年に40歳を迎え、2070年に還暦を迎える子どもたちです。

地球の未来も、日本丸の行く手も、地域の将来も、いずれも、不透明で、不確かで、不安に満ちています。

しかし、とくに本業の大学の教員として学生たちを前にして日々思うことですが、学習や教育、普及・啓発活動の基本は、不透明で不確実な中でも、学ぼうとする人たちに、住民・市民に「希望」を伝えあうことにあるのではないのでしょうか。足元のぬかるみに気をつけながらも、「坂の上の雲」を示し続けなければなりません。

私たち全国ネットの活動も、地域センターの活動も、低炭素社会への転換に向けて、日々種を蒔き、木を植え続けるような地道な活動の連続です。

地域センターと地球温暖化防止全国ネットは、低炭素社会づくりのフロント・ランナーとして、牽引役として、走り続けなければなりません。

2011年新春、走りはじめた私たちに、本年も、あたたかいご支援とご指導・ご鞭撻をお願いいたします。



年頭のごあいさつ

環境省 地球環境審議官 寺田 達志

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット会員各位におかれましては、平素から地球温暖化防止行政に対し、御理解と御協力をいただき、また、地域における地球温暖化防止活動に特段の御尽力をいただいております。深く感謝申し上げます。

また、旧年中は全国センターの指定見直しに当たり、皆様方が地域センターの力を結集し、新たな行動を開始されるに至ったことに対し、あらためて心から敬意を表するとともに感謝申し上げる次第です。

さて、我が国は、全ての主要国による公平かつ実効性ある国際的枠組みの構築と意欲的な目標の合意を前提条件として、2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%、更に2050年までには80%削減するとの意欲的な目標を掲げております。

この目標に向けては、あらゆる施策を総動員して、我が国がこれまで培ってきた環境技術やノウハウ、人材などにさらに磨きをかけていく必要がありますし、我々の日々の暮らしにおいて、まさに低炭素型のライフスタイルを実現していくことが不可欠です。

そのような中で、これまで地域における地球温暖化防止活動に真摯に取り組んでこられた地域センターとそのネットワークの役割は今後益々高まっていくものと認識しております。

最近の異常気象の状況を見るにつけ、我々の子孫に健全な地球を残すため、温暖化対策の緊急性、重要性を改めて痛感するところです。地球規模の課題の克服に向けて、私ども環境省としても、皆様と共に歩みつつ、全力を挙げて取り組んで参る所存でありますので、これまでも増して御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人地球温暖化防止全国ネットのますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



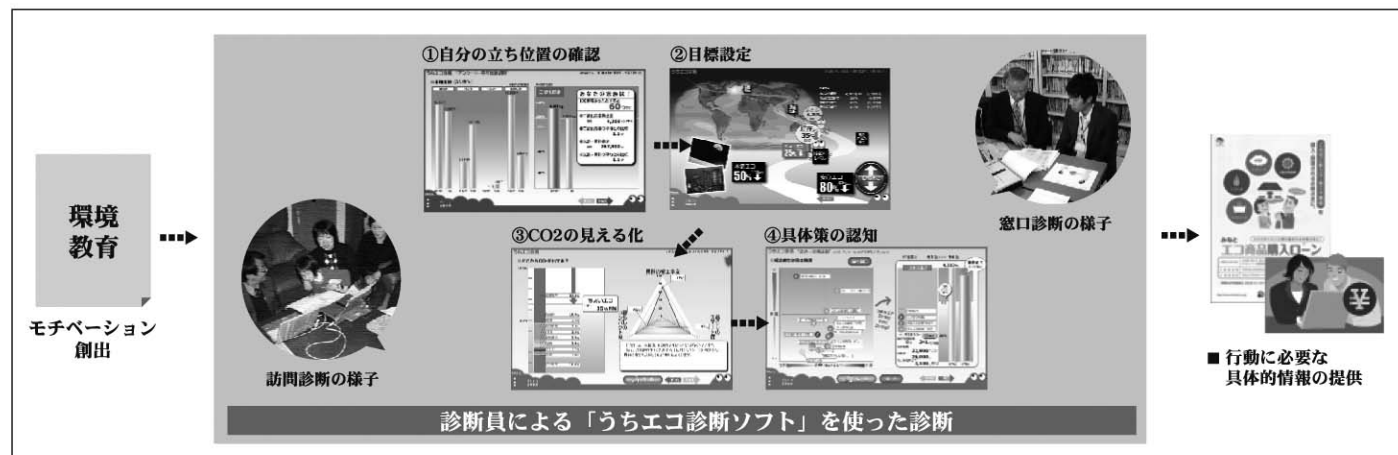
「うちエコ診断事業」を全国で展開中

全国ネットでは、JCCCA事業として、全国の地域センターと協働して「うちエコ診断事業」を全力で進めています。

「うちエコ診断事業」は、全国一律に普及啓発を行うのではなく、それぞれの家庭の排出構造が相違する、個性をもっているという考えに立脚して、個々の家庭に合わせた対策を提案していくものです。各家庭の排出構造が見える化し、地域での立ち位置を明らかにした上で、各家庭に応じた対策メニューを提示していきます。

地域センターが養成した診断員が、診断ソフト（ツール）を使いながらその家庭（受診者）とのコミュニケーションを通じて、各家庭の最も効果的な排出削減を促していきます。

全国ネットでは政府が目標とする2020年25%削減に寄与するため、「うちエコ診断」の拡大と課題の解決に取り組んでいます。



低炭素杯2011 一般参加者募集中！

子どもたちのために低炭素な社会をつくるため、学校・NPO・企業・自治体など、いろいろな方々が全国各地で展開している地球温暖化防止の地域活動に、連携の輪を拡げる「場」を提供する「一低炭素杯2011ー低炭素地域づくり全国フォーラム」（低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会主催）を2011年2月5日と6日に開催します。

この「低炭素杯2011」全国フォーラムは、一昨年の事業仕分けにより廃止となった温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業を民間の支援で継承したものであり、37都道府県から47の先進的な地球温暖化防止活動が集まります。その活動団体の発表を聞き、そして直接交流できる機会です。みなさんの参加をお待ちしています。

一低炭素杯2011ー低炭素地域づくり全国フォーラム 開催概要

【日 程】2011年2月5日（土）13:00～19:00（12:00開場）※出入自由

2011年2月6日（日）10:00～15:30（9:30開場）

【会 場】東京大学 安田講堂及び山上会館（東京都文京区本郷7-3-1）

【内 容】1日目：日本全国からの出場団体によるプレゼンテーション

2日目：午前／分科会「地域づくりとコミュニケーション」

第1分科会テーマ「コミュニケーション」

第2分科会テーマ「地域おこし・企業」

コメンテーター：関 正雄氏（株式会社 損害保険ジャパン 理事 CSR統括部長）

午後／低炭素杯2011～ストップ温暖化大賞～記念シンポジウム

コーディネーター：赤池 学氏（株式会社 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長）

パネリスト：小宮山 宏氏（三菱総合研究所 理事長、東京大学 総長顧問）

大竹 俊夫氏（トステム株式会社 取締役社長）

菊川 怜さん（タレント、女優）

表彰式ほか

【主 催】低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会

【委員長】小宮山 宏：三菱総合研究所理事長・東京大学総長顧問 【副委員長】川北 秀人：IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所 代表

【共 催】東京電力株式会社、トステム株式会社、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

【協 賛】OMソーラー株式会社、木原木材店、株式会社きょうせい、佐川急便株式会社、株式会社損害保険ジャパン、株式会社ポッカコーポレーション

【後 援】環境省

一般参加申込方法

「低炭素杯参加申込み」とご記入のうえ、以下の項目をメールまたはファックスで事務局までご連絡ください。

お名前、ご住所または会社名、お電話番号、メールアドレス

ご来場いただく日・2月5日「プレゼンテーション」

・2月6日「分科会①②」「記念シンポジウム」「表彰式」

・両日

送付先 ▶▶▶ 一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット（低炭素地域づくり全国フォーラム事務局）

E-mail: teitanso-hai@jccca.org / FAX: 03-5280-8100

気候変動枠組条約第16回締約国会議（COP16）成果と課題

2010年11月29日から12月10日まで、メキシコ・カンクンで、気候変動枠組条約第16回締約国会議（COP16）、京都議定書第6回締約国会議（COP/MOP6）が開催されました。



▲ COP16掲示のようす
(写真：宮城県センター 江刺家 由美子氏撮影)

全国ネットでは、運営委員であり、地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）専務理事でもある早川光俊氏、宮城県地球温暖化防止活動推進センター（ストップ温暖化センターみやぎ）の阿部育子氏、江刺家由美子氏に現地からのレポート協力を依頼し、全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）ホームページのCOP16特設ページに掲載しております。



◀ COP16でのようす「子どもたちがつくった理想の地球」
(写真：宮城県センター 江刺家 由美子氏撮影)

早川光俊氏より現地からのレポート「2010.12.11 COP16/CMP6、決定を採択して閉幕」より

最終日の12月11日（土）午前4時前（カンクン現地時間）、気候変動枠組条約第16回締約国会議（COP16）と京都議定書第6回締約国会合（CMP6）は、カンクン合意を採択して閉会しました。

カンクン合意は、COPとCMPの決定からなっています。CMP決定は京都議定書の第2約束期間を想定した決定になっており、先進国の2013年以降の削減目標について、平均気温の上昇を2℃程度に抑制するためには2020年までに先進国は90年比で25-40%削減しなければならないとのIPCCの第4次評価報告書の知見を認識して、第1約束期間と第2約束期間の間に空白期間を開けないように検討することになっています。また、京都議定書に参加していないアメリカや途上国に関するCOP決定も、2℃未満を認識し、世界の温室効果ガスの排出量をできる限り早くピークアウト（排出量をピークから削減に向かわせる）するとされています。アメリカの排出削減目標については、議定書の先進国と同様の文言で、補助機関会合の情報文書に書き込み、それを留意することになっています。途上国の削減行動についても、情報文書に書き込み、それを留意することになっています。



▲ JCCCA「COP16特設ページ」より

カンクン合意には、IPCCの2020年に90年比で40%削減と現在締約国が提示している約束（削減目標）との間には10億トンレベルの開き（ギガトンギャップ：Giga ton gap）があることへの言及がなく、COP17で合意される枠組みが「法的拘束力」を持つものとなるかどうかは不明のうえ、ピークアウトの時期も特定されず、長期目標も「大幅な削減」とされ50%削減などの具体的な数字がないなどの問題点もあります。

しかし、ひとまずは来年南アフリカのダーバンで開催されるCOP17に向けて、合意の足がかりとなる重要な成果をあげたと評価できると思います。

COP16 特別展示開催中です

全国ネットでは「我ら共通の未来」と題して、気候変動に関する国際交渉の現在までの経緯や、京都議定書、前回COP15（デンマーク）でのコペンハーゲン合意など、世界の現状と今回のCOP16のポイントをもとめた特別展示を地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）との共催で行っています。今回、COP16でのカンクン合意を経ての新しい情報なども逐一更新予定です。また、今後、このパネルは新しい貸出ツールとして整備予定ですので、こちらもぜひご活用ください。

＜展示期間および展示場所＞

地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

東京都東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

TEL：03-3407-8107／FAX：03-3407-8164

展示期間：2010年12月1日（水）～2011年3月末（予定）

開館時間：10:00～19:30（土曜日は17:00まで）

休館日：日曜、月曜、祝日、毎月第4金曜日、年末年始



賛助会員入会のご案内

地球温暖化防止に向けた環境意識は、これまで地道に息長く続けられてきた普及啓発活動の蓄積によって、かつてない高まりを見せています。しかし、地球温暖化対策は10年、20年、数十年単位で考えるべき長い道のりですから、これまで以上に国民一人一人の一層の理解と取り組みが不可欠です。ようやく盛り上がってきた人々の「意識」を「行動」に変えるには今が大きなチャンスです。地域で活動する団体・個人が堅固なネットワークと体制を構築し、低炭素社会づくりの「新しい公共」の担い手として、今こそ躍進しなければなりません。

このたび、地球温暖化防止の地域活動を行う全国の団体が、「一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット」を設立いたしました。他の関連団体等とも連携しながら、地球温暖化防止にかかわる最新の情報の収集・提供等を行い、行動を促し、より広範な地域活動を通じて、地球温暖化対策の一層の推進に寄与することを目的としています。

当全国ネットは、平成22年10月1日、環境大臣より地球温暖化対策推進法第25条第1項の規定に基づいて「全国地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受け、温暖化対策にかかる情報発信、調査研究などの役割を担うこととなりました。

一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの趣旨に賛同し、賛助会員として当協会活動を支援して下さる個人や団体の賛助会員を募集しております。

年会費

- 個人会員：1口 5,000円 (1口以上)
- 団体会員：1口 20,000円 (1口以上)

主な特典 (このほか、様々な特典を準備中です)

- 当法人主催事業をはじめとした地球温暖化防止に関わる有益な情報を掲載した情報誌を年4回お届けします。
- 当法人主催事業に会員特価で参加できます。
- 団体会員の方には地球温暖化に関する体験学習講座を会員特価で開催します。
- 地球温暖化防止に関する資料や貸出ツールなどのデータを無料で提供します。
- ウェブサイト、情報誌で会員となられた団体名・個人名をご紹介します。(個人名は希望者のみ)

入会方法

ホームページより入会申込書をダウンロードのうえ、必要事項をご記入の上、当法人までFAXまたは郵送にてお送りください。後日、ご案内文書と振込取扱票を郵送いたします。

ホームページ ▶▶ <http://www.jccca.org/about/about02>

全国ネット今後のスケジュール

- 第6回理事会 (1月中旬)
平成23年度事業方針の検討など
 - 第2回運営委員会 (1月下旬)
平成23年度事業計画案の検討など
- 第7回理事会 (2月中旬)
社員総会の開催、定款の変更、平成22年度事業実施報告、平成23年度事業計画案、平成23年度収支予算案など
- 第1回社員総会の開催 (3月初旬)
定款の変更、平成22年度事業実施報告、平成23年度事業計画案、平成23年度収支予算案など
- 第2回社員総会の開催 (6月)
平成22年度事業報告、平成23年度決算報告など

貸出教材をご活用ください

全国ネットでは、地球温暖化についてわかりやすく伝え、地球温暖化防止に向けた行動への一歩を踏み出すためのきっかけとなる参加型の学習教材「活動プログラム」等のツールの貸出を行っています。地球温暖化の情報を見聞きするだけでなく、参加者が頭や体を使ったりグループワークをしながら温暖化問題を考え、活動へのきっかけとなるように工夫されたツールを各種ご用意しています。どの地域でも使えるツールを目指して開発していますので、各地域ごとの特色を活かして、イベント・講座などでぜひご活用ください。

- 貸出物：パネルセット全29種類、タペストリー全9種類、紙しばい、ゲーム、DVDなど
- 貸出期間：原則2週間まで
- 料金：無料 (送料のみご負担ください)

ひもとく 編集後記

昨年、地域センター連絡会の法人化と全国センターの指定替えという動きの中で、自分でも予想だにしていなかった人生の選択があり、前の職を辞して9月末に関西から上京して、東京での単身生活も早3ヶ月が過ぎました。ワンルームと事務所の往復の毎日ですが、東京の生活や地下鉄乗り継ぎにも幾分慣れてきたかな、という次第です。さて、全国ネットも長谷川理事長、地域センターのみなさんをはじめ環境省、関係者の支援と協力のなかで、ヒト、カネ、モノの準備から理事会、運営委員会の立ち上げ、事業の実施とその「かたち」ができてきたかなという感じです。飛行機の離陸でいえば、事業再仕分け、政策コンテストなど天候不順のなかで、ようやく滑走路の端にたどりついたところでしょうか。今年も何かとお世話になりますがよろしくお願ひします。

こうしたなか「全国ネット通信」の発刊にこぎつきました。当面季刊ということで発行させていただきますが、みなさまの忌憚のないご意見、ご提案など頂ければと思っています。

専務理事・事務局長 菊井 順一

A20-01 「この冬はエコロモード」

冬のオススメ!



「エコ」と「コロモ(衣)」と「モード(ファッション)」を組み合わせ「エコロモード」。寒い冬に、重ね着やちょっとした工夫でエネルギーをそんなに使わなくても快適に過ごせるコツを見いだすツールセットです。パネルを見たり、ワークシートを書いてもらうことで「温度」を意識し、暖房に頼りすぎない生活への転換をうながすきっかけとしてご利用ください!

編集・発行

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-17 神田第三中央ビル5F

TEL.03-6273-7785 FAX.03-5280-8100

2100
古紙・バブル配合率100%再生紙を使用

PRINTED WITH SOY INK
Soy Inks are made from soybeans, a renewable resource.